

相馬  
ゆうこの

# 南千住レポート



まちづくり、  
くらしの情報  
を届けます

区議会控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎:3802-4627  
FAX: 3806-9246 / ✉:arajcp@tcn-catv.ne.jp  
相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階  
☎・FAX:3807-4192



・HP→  
・Twitter @m1010\_yuko  
・araken-nan.jugem.jp



## 石浜城址公園「時計の設置」「水たまり対策」を

南千住3丁目の石浜城址公園について、ご意見・ご要望を頂いています。



「他の公園では時計がついているのをよく見るけれど、石浜城址公園にはなぜかありません…時計をつけてもらえないでしょうか？」



携帯電話を持っていない高齢の方や子どもたちは、身近な公園に時計があると安心ですね。土木管理課の公園係に伝えたところ「大きな公園には設置しているのでご要望に応えたい」とのことで、半月ほどでさっそく設置されました。ご要望された方も「言ってみるものですね！」とにっこり。さらに、こんなご意見も。



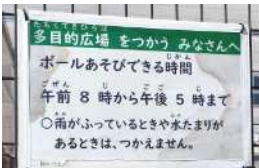
時計がつけました

多目的広場(ボール遊びスペース)



「バスケットができるので嬉しい！でも雨上がりには大きな水たまりができて使えない日が続くことも…どうにかなりませんか？」

石浜城址公園のボール遊びスペースにはバスケットゴールが設置されており、練習する子どもたちも多くいます。ところが地面が砂利敷きで、雨上がりには大きな水たまりが…。



入口には「水たまりがあるときはつかえません」との表示も。

また、複合遊具の日陰になっているところも、地面が削れ水たまりが残っています。

土木管理課は「地面を盛って整地できるか確認する」とのことですが、ボール遊びスペースはゴムチップ舗装などに出来ればもっと遊びやすくなると思います。最近では地面に敷くだけの「スポーツコート」というものもあるそうで、区に提案してみたい。



↑ 大きな水たまりが…  
これでは遊べない  
複合遊具の「ブランコ」?  
の下も、日陰で  
水たまりに  
←

# 区立特養の大規模改修～住み続けられるまでに

区立の特養ホームは3か所あり、一番古いグリーンハイム荒川は

1989年（H1年）開設・今年で35年目、

サンハイム荒川、花

の木ハイムもそれぞれ築28年・24年で、大規模改修の実施時期が迫っています。

区は順次、改修を行う予定ですが、入所者の「居ながら工事」

が難しいため移転先や



## 区内の特養ホームは7か所

		開設	定員
区立	グリーンハイム	南千住6丁目	1989年 100人
	サンハイム	南千住3丁目	1995年 59人
	花の木ハイム	荒川5丁目	1999年 50人
民間	信愛のぞみの郷	西尾久1丁目	1994年 64人
	さくら館	町屋7丁目	2004年 86人
	癒しの里南千住	南千住6丁目	2012年 100人
	おたけの郷	町屋7丁目	2013年 140人

用地などどう確保するかが、この間、課題となっています。

グリーンハイムを 検討の結果、グリーンハイムについて、2024年「蔵前」へ一時移転 度で運営が終了する台東区の「特養ホーム蔵前

（定員50人）」を借上げて入所者の移転先として活用、施設を完全に空けた状態で大規模改修をすすめるとの方針が提案されました。来年度から入所調整を行って定員を100→70人に減らし、さらにサンハイムへ15人、花の木ハイムへ5人を一時移転し、50人を蔵前へ移転するとしています（下表）。



	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年
グリーンハイム (定員100人)	入所調整 (100→70) サンハイムへ15人・花の木へ5人・蔵前へ50人移転	← 大規模改修 →			再開 蔵前から50人・花の木から5人戻り			
サンハイム (定員59人)	運営		入所調整 (59→45)	← 大規模改修 → グリーンハイムへ45人移転		再開 グリーンハイムから45人戻り		
花の木ハイム (定員50人)	運営						← 大規模改修 → グリーンハイムへ45人 サンハイムへ5人移転	

大規模改修終了後は100人定員に戻る予定ですが、サンハイム、花の木ハイムの入居者の一時移転先として活用するため、花の木ハイムの大規模改修が終わる2032年度までは実質定員50人に。区内特養ホームが少ないため待機者は現在400名程度おり、改修期間の受け入れ減や通所サービス・ショートステイ実施への影響も心配です。災害時の福祉避難所とともに介護が必要になっても区内に住み続けられる施設、体制整備を引き続き求めたい。



## 〈法律・生活相談〉

### 3月の定例法律相談日は 14日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第2木曜18時から。平日の午後15時に法律事務所（北千住）でも可能です。お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

# 防災21億<再開発28.9億!?!来年度予算を考える

区の新年度予算案は過去最大の1219億円で、重点施策では「災害対策の充実に1.4億円」としています。しかし予算全体をみると、主な防災関連費（人件費を除く）はあわせて20.75億円、予算の1.7%にとどまっています。

## 防災関連の予算は…

今年度3.8億 → **来年度 4.65億**



	今年度	来年度
備蓄倉庫の管理	4700万	→ 1億1500万
職員の防災活動	6900万	→ 9200万
情報の収集・管理・伝達システム	8500万	→ 7700万
防災設備の整備・改修	4300万	→ 5000万
区民への普及啓発	2800万	→ 3900万
防災訓練	2000万	→ 2300万
地域の消化器整備	3000万	→ 2200万
防災広場の管理	1800万	→ 1900万
区民組織の指導・育成	1300万	→ 1300万
消防団への補助	950万	→ 1000万
永久水利の活用	260万	→ 270万
防災計画の策定・見直し	1500万	→ 250万

計画、訓練、**備蓄は約5億** そのうち「危機管理対策費」として、備蓄倉庫の管理、災害情報のシステム管理、防災訓練や区民への普及啓発など、災害時に備えた体制整備の予算が4.65億円。

今年度と比べると、大きくふえたのは「備蓄倉庫の管理」で、備蓄品にエアマット、歯ブラシなどを追加し、簡易トイレを増量する予定です。また、区職員の災害時対応の強化などに2300万円を増額しますが、その他の項目に大きな拡充はなし。



## 防災まちづくり、住宅耐震化は約16億

住宅耐震化や防災まちづくりにかかる予算（道路整備を除く）は、「都市計画費」として、木造住宅密集地域の対策や住宅耐震化、災害時の生活用水のための永久水利整備などに16.1億円です。

南千住1・5丁目など木造住宅が多い地域で建替え等を促進する「不燃化特区の整備」に約

## 耐震化などの予算は…

今年度12.1億 → **来年度 16.1億**



	今年度	来年度
不燃化特区の整備促進	9億4900万	→ 12億7600万
永久水利の整備	1300万	→ 1億4300万
耐震化の推進	1億3900万	→ 1億
従前居住者用住宅事業	4400万	→ 3200万
都市防災不燃化促進事業（※2024年度まで）	2100万	→ 2600万
住宅資金融資のあっ旋・利子補給	2000万	→ 1700万
擁壁等対策	1000万	→ 1100万
被災者生活再建支援	1400万	→ 520万

3.3億円、宮前公園（尾久）内の新たな永久水利整備に1.3億円をそれぞれ増額。しかし、

肝心の「耐震化事業の推進」は3900万円の減額に。また、「都市計画費」45.7億円のうち「市街地再開発事業」に28.9億円を計上する一方、「空き家対策」4100万円、「コミュニティバス関連事業費」320万円、「バリアフリー整備促進」は44万のみ。

区民の命とくらしを守るために震災時の「家屋倒壊」対策や「避難所改善」、さくらバス補助予算などの増額を提案していきたい。

再開発に 28.9億円

〔三河島 22.3億〕  
〔西日暮里 6.6億〕



「住宅耐震化の推進」1億  
「空き家対策」4100万  
「コミュバス関連事業費」320万  
「バリアフリー整備」44万





# 南千住のメトロ高架下にスケボーパーク

日比谷線南千住駅前のローソン隣、高架下に東京メトロがスケボーパークをオープン。スケートボードが東京オリンピックの競技に採用され、

日本人の男女が金メダルを獲得したこともあり、子どもをはじめ愛好者がふえています。23区でも公共施設として整備している区が7区あり、荒川区でも高校生から「区内にスケボー練習場をつくってほしい」との陳情が出され、区議会で「趣旨採択」になっています。地域のみなさんの理解も得ながら、



子どもや若者がのびのびと遊べる場所になるといいなと思います。

**騒音、安全性の心配は？** 先日、スケボーパークを企画したメトロ社員の方と直接お話する機会がありました。騒音や安全性の課題にも目を向け、騒音調査を実施・施設には接触性の低いアイテムを置き、プロテクターを無料で貸し出すなどの工夫をしているそう。また、

近隣の保育園にも説明を行ったそうで、地域への影響も考えているのだなと感じました。

3月15～31日は無料体験会を実施、4月からスケボースクール、7月からフリー滑走の開始を予定。ホームページも開設されています。



パーク内の様子

**仲道区道活用にも** パークに面した区道（仲道区道）は、補助331号線開通後には車両通行止めになるため、区も道路の活用を考えているようですが、この際、スケボーに関わるイベント等をやってもいいかも。歩行者の安全と人が集まればゴミのポイ捨てなどの課題もあるかと思いますが、みなさんのご意見もお寄せ下さい。



## アンケートにご協力ありがとうございます

さくらバスのアンケートに、たくさんの回答を頂いています。ありがとうございます。アンケートを集計し、みなさんに結果のお知らせと議会での質疑に活かしていきます。引き続き回答、ご意見をお寄せください。



新たな時刻表がくくりつけられたバス停

**ご意見・ご質問頂きました** ○ メール頂きました。「『交通園リニューアル』に反対ではありませんが、運営を実践的にして…指導員を配置し常時交通ルールを教える等有効活用しないと勿体ない。健康づくりアプリは利用される？南千住図書館リニューアル予算にも驚きです。『今どうしても!! ではない事』が多い気がします!!日銭・今日の食事も儘ならない人が一杯います。血税を本当に困ってる人に、庶民の為に使って!」庶民が多数派、政治の主役なのに、目減りする年金や結婚できない非正規労働が放置される実態、身近な地方自治体こそ真価が問われています。

